

ご参加要領

| | | | |
|---------------------------|---|---------|---------|
| 参加形式 | Zoomの画面を視聴します（ご自身のビデオはONになりません）。チャットでコメントや質問ができます。 | | |
| 1人あたり参加料 (単価) ※消費税込 | 申込人数 | 本会会員 | 一般 |
| | 1名申込の場合 | 11,000円 | 13,200円 |
| | 2名申込の場合 | 8,800円 | 11,000円 |
| | 3名以上の場合 | 7,700円 | 8,800円 |
| 申込ページ | http://www.noma-front.com/shop/seminar/seminardetail.aspx?seminar=60016193 | | |

- ・ 11月19日と11月25日の2回分を含んだZoomウェビナー参加料です。
- ・ Zoomクラウドレコーディングにて、翌日以降に録画視聴もできるようにいたします。（*12月4日までの期間限定）
- ・ 下記URLにてWEB申込をしてください。

※複数名のお申込みは、連絡担当者がまとめてお申込みください。

※お申込後、開催日の3営業日前からは受講料の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。

お問合せ先

一般社団法人日本経営協会 関西本部 オンラインフォーラム事務局

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 TEL 06-6443-6961

E-Mail ggosaka@noma.or.jp URL <https://www.noma.or.jp/>

プログラム

11月19日(木)
15:00~17:00
Zoomウェビナー

変化対応能力のある組織をつくる

～変化の本質を捉え、これからの組織・人材戦略を考える～

ウィズコロナの環境変化とともにデジタル化の進展も加速しています。講師の高橋俊介氏は、「これまでの日本の代表的企業の多くは、特定のビジネスモデルに最適化された組織をつくってきた」と指摘し、想定不可能な変化に対応できる経営スタイルへの転換を提唱されています。

このセッションでは、同氏の講演や金井壽宏氏（本フォーラム実行委員長）との対談を通して、これからの組織・人材戦略の方向性を探ります。

| | | |
|-------------|-------------|--|
| 15:00 | 開会挨拶 | 本フォーラム実行委員長 金井 壽宏 氏 (立命館大学 食マネジメント学部 教授/神戸大学 名誉教授) |
| 15:10 | 基調講演 | 「変化対応能力のある組織をつくるダイバーシティとキャリア自律」 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授 高橋 俊介 氏 |
| 16:00 休憩 | | |
| 16:10 | 対談 | 「健全な危機感を持ちつつ、このトランジションとどう向き合うか」 高橋俊介氏×金井壽宏氏 (ご参加者からの質疑もまじえて) |
| 17:00 | | |



高橋 俊介 氏 (たかはし・しゅんすけ)

1954年生まれ。東京大学工学部卒業、米国プリンストン大学工学部修士課程修了。日本国有鉄道(現JR)、マッキンゼー・ジャパンを経て、89年にワイアット(現タワーズワトソン)に入社、93年に同社代表取締役社長に就任する。97年に独立し、ピープルファクターコンサルティングを設立。2000年には慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授に就任、11年より特任教授となる。

主な著書に『21世紀のキャリア論』(東洋経済新報社)、『人が育つ会社をつくる』(日本経済新聞出版社)、『自分らしいキャリアのつくり方』(PHP新書)、『プロフェッショナルの働き方』(PHPビジネス新書)、『ホワイト企業』(PHP新書)など多数。



金井 壽宏 氏 (かない・としひろ)

1954年神戸市生まれ。78年京都大学教育学部卒業。80年神戸大学大学院経営学研究科修士課程を修了。89年MIT(マサチューセッツ工科大学)でPh.D.(マネジメント)を取得。92年神戸大学で博士(経営学)を取得。94年神戸大学経営学部教授。99年神戸大学大学院経営学研究科教授。2020年より現職。

変革型のリーダーシップ、創造性とまじむマネジメント、働くひとのキャリア発達、次期経営幹部の育成、これからの人事部の役割、研究とつながる教育・研修のあり方を主たるテーマとしている。著書は『変革型モデルの探求』『リーダーシップ入門』『人勢塾』ポジティブ心理学が人と組織を変える』など、50冊以上

11月25日(水)
15:00~17:00
Zoomウェビナー

ワークスタイルと組織文化を見直す

～仕事文化はどう変わり、どう変わろうとしているのか～

ウィズコロナの状況が続くなか、職場に集まったの仕事、定時出社といった従来型ワークスタイルの意義が薄れるとともに、同時に職場コミュニケーションの希薄化やOJTの困難さなども危惧されています。守島基博氏は「自社の仕事に関する組織文化を見直す」ことの必要性を指摘し、そのうえで、人事には新たな仕事文化を構築し、これに合ったリーダーシップ像を構築する役割があると問題提起されています。

このセッションでは、同氏の問題提起の後、企業3社における現状を共有しながら、今後組織文化をいかに見直していくべきかの課題を考えます。

15:00 問題提起 「組織文化を見直し、新たなリーダーシップ像の構築を」

学習院大学 経済学部経営学科 教授
一橋大学 名誉教授

守島 基博 氏

15:30 発表 「ウィズコロナでのワークスタイルはどう変わったか」 【約10分×3社】

【約10分×3社】

パナソニック株式会社 人材開発カンパニー
コーポレートL & D部 部長

小野山 敬一 氏

株式会社大丸松坂屋百貨店 本社人材開発部
部長 大丸大阪・心斎橋店担当

藤原 恵 氏

サイボウズ株式会社 人事本部部長
兼 チームワーク総研 研究員

青野 誠 氏

16:05
休憩

16:10 登壇者4名によるパネルディスカッション

「これからのワークスタイルと組織文化のあり方を考える」

【守島氏の司会により進行】

16:50 17:00 まとめ講義



守島 基博 氏 (もりしま・もとひろ)

1986年米国イリノイ大学産業労使関係研究所博士課程修了。人的資源管理論でPh.D.を取得後、カナダ国サイモン・フレーザー大学経営学部Assistant Professor。慶應義塾大学総合政策学部助教授、同大学院経営管理研究科助教授・教授、一橋大学大学院商学研究科教授を経て、2017年より現職。厚生労働省労働政策審議会委員や、これからのテレワークでの働き方に関する検討会座長などを兼任。主な著書に『人材マネジメント入門』、『人材の複雑方程式』（共に日本経済新聞出版社）、『人事と法の対話』（有斐閣）などがある。



小野山 敬一 氏 (おのやま・けいいち)

1991年松下電器産業株式会社(当時)入社。2年間の中国勤務を含むグローバル人事、社内カンパニーでの人事・労政行政など、一貫して人事畑を歩む。2016年よりパナソニックの社内人材開発部門である人材開発カンパニー勤務。2018年より現職で幹部開発研修、キャリア研修、新入社員研修など各種人材開発施策の企画・立案を担当。



藤原 恵 氏 (ふじわら・めぐみ)

1989年株式会社大丸百貨店(当時)入社 梅田店配属。外商部、人事部を経て、01年本社マーケティング戦略企画担当スタッフ。08年大丸百貨店と松坂屋百貨店の統合に伴い、東京本社勤務。14~18年本社人事部 人材育成・採用担当スタッフ。18年DMSA(大丸松坂屋セールスアソシエイト)百貨店販売事業部 梅田店担当部長。19年~現職。現在に至る。16年、CDA(キャリアアドバイザー)資格取得。



青野 誠 氏 (あおの・まこと)

2006年早稲田大学理工学部情報学科卒業後、サイボウズ株式会社に新卒で入社。営業やマーケティング、新規事業立ち上げなどを経験後に人事部へ。現在は人事部での採用・育成・制度づくりやチームワーク総研を兼務。2016年よりNPO法人フローレンスの人事部門にも参加し、複業中。自ら多様な働き方を実践している。

受講上の留意点

- Zoomはブラウザ参加も可能ですが、アプリケーションでの受講をおすすめします。また、受講時のネットワーク環境に問題がないかを事前にご確認ください。接続テストサイト (<https://zoom.us/test>) もご利用ください。
- セミナーの録音・録画、撮影(スクリーンショット)は禁止いたします。
- プログラムの一部を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。